

1. 科目名（単位数）	学習・言語心理学（2 単位）	3. 科目番号	SPMP2330 PSMP2330
2. 授業担当教員	加藤 宏一		
4. 授業形態	講義・演習・ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	学習とは、経験によって生じる行動の変化、と定義される。人間は、生まれてから死ぬまでの間に、さまざまなことを学習したり、忘れたりする。さらに、過去の学習を基盤として新しい学習を行うといったように、日常生活においては常に学習をしている。本科目では、こうした学習の仕組みや働きに関する代表的な学習理論について学んでいく。また、言語の習得における機序についても学ぶ。		
8. 学習目標	1.学習心理学の基礎的な理論や研究方法についての知識を習得する。 2.学習心理学の知識が臨床、教育、福祉等の他分野でどのように生かされているのかを理解し、説明できる。 3.身近な問題行動の理解や改善に、習得した学習心理学の知識や研究方法を活用することができる。 4.言語学習の機序について説明できる。		
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	・授業内および授業外において、学習単元に関する課題を行ってもらう。 ・プロジェクト：行動分析学の方法論を用いて「行動変容プロジェクト」を実施し、その成果をレポートにする。また、その成果について授業時に口頭発表を行う。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】今本繁（著）『自分を変えたい人の ABC モデル 改訂版』ふくろう出版、2020 年 【参考書】必要に応じて授業で紹介する。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 ・学習心理学の基礎的な理論や研究方法について理解し、説明できること。 ・学習心理学の知識が他分野においてどのように生かされているかを理解し、説明できること。 ・身近な問題行動の理解や改善に学習心理学の知識をどのように生かすことができるか説明できること。 ・言語学習の機序について説明できること。 ○評定の方法 授業への積極的参加度 15%、課題(テスト、レポート、発表など)85%とし、総合的に評価を行う。		
12. 受講生への メッセージ	私たちが日々、現在のように行動しているのは何故なのでしょう。自分や他者の問題行動は、どうすれば改善するのでしょうか。こうした疑問について、学習理論や行動分析の視点から考えてみたいと思います。		
13. オフィスアワー	授業時に通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	イントロダクション：学習心理学の歴史と特徴	事前学習	テキストの準備
		事後学習	講義資料の再読とまとめ
第 2 回	レスポナント条件づけ①：基本的特徴	事前学習	テキストの予習
		事後学習	講義資料の再読とまとめ
第 3 回	レスポナント条件づけ②：応用と日常例	事前学習	テキストの予習
		事後学習	講義資料の再読とまとめ
第 4 回	オペラント条件づけ①：強化の随伴性	事前学習	テキストの予習
		事後学習	講義資料の再読とまとめ
第 5 回	オペラント条件づけ②：弱化的随伴性	事前学習	テキストの予習
		事後学習	講義資料の再読とまとめ
第 6 回	ここまでのまとめ	事前学習	テキストの予習
		事後学習	講義資料の再読とまとめ
第 7 回	行動分析①：目標設定とアセスメント	事前学習	テキスト第 1 -3 章の再読
		事後学習	講義資料の再読とまとめ
第 8 回	行動分析②：介入計画と評価	事前学習	テキスト第 4-6 章の再読
		事後学習	講義資料の再読とまとめ
第 9 回	セルフマネジメント	事前学習	テキスト第 7 章の再読
		事後学習	講義資料の再読とまとめ
第 1 0 回	パフォーマンスマネジメント	事前学習	テキスト第 8 章の再読
		事後学習	講義資料の再読とまとめ
第 1 1 回	言語学習①：言語の習得	事前学習	配布資料を読む
		事後学習	講義資料の再読とまとめ
第 1 2 回	言語学習②：言語の使用	事前学習	配布資料を読む
		事後学習	講義資料の再読とまとめ
第 1 3 回	プロジェクト発表①：学生発表と質疑応答	事前学習	プロジェクト発表の準備
		事後学習	プロジェクト発表のまとめ
第 1 4 回	プロジェクト発表②：学生発表と質疑応答	事前学習	プロジェクト発表の準備
		事後学習	プロジェクト発表のまとめ
第 1 5 回	これまでの授業のまとめ	事前学習	これまでの講義内容を振り返る
		事後学習	これまでの講義内容をまとめる
期末試験			